

大雨・突風・雷・河川の増水に注意！

保護者様

温帯低気圧となった台風ですが、速度が遅く、北海道から本州に延びる寒冷前線に暖かい湿った空気が流れ込んでいるため、大気の状態が非常に不安定で、大雨や突風、雷をもたらしています。この状況は、明日にかけて続く予想であり、災害が心配されます。

昨日も、鹿沼市から矢板市にかけて、竜巻と見られる突風の被害がありました。本校においても、児童に、竜巻への対応の仕方や河川の増水への注意を呼びかけるなど、対応しているところです。ご家庭におきましても、十分ご留意くださいますようお願いいたします。

平成 25 年 9 月 5 日

馬頭小学校長 大金典夫

【竜巻など突風への注意】

- ア すぐに、家の中に避難する。余裕があれば、雨戸やシャッターをしめる。
- イ 窓をしめ、ガラス破損や飛び込んでくるがれきを防ぐためカーテンを引く。
- ウ 窓やドアから離れ、家の中心部の窓のない部屋に移動し、机の下などに入り、両腕で頭や首を守る。
- エ 外出中は、近くの家で避難させてもらう。ない場合は、近くの水路やくぼみに身をふせ、両腕で頭や首を守る。



【雷への注意】

- ア 積乱雲に気をつけ、次のような状況になったら、すぐに安全な場所に避難する。
 - ★真っ黒な雲が近づく
 - ★雷の音が聞こえる
 - ★急に冷たい風が吹いてくる
- イ 避難する安全な場所とは……
 - 家の中
 - 車の中
 - ×広場や校庭
 - ×木の下
 - ×テントや掘っ立て小屋



【大雨と河川の増水への注意】

- ア 大雨の時や大雨の警報・注意報がでているときは、川や山などに行かない。
 - ・今いる場所で雨が降っていなくても、上流で大雨があった場合、急に増水する。
 - ・がけ崩れがおきやすい場所には近づかない。
- イ 大雨がやんだ後も、増水しているので、川やため池などへは近づかない。
 - ・普段、水が少ない小さな川や水路でも、増水すると大人の背丈より深くなり、水の流れも速く、あっという間に流されてしまう。
 - ・橋からのぞき込んだりしない。
 - ・川やため池の土手を歩かない。 …etc.



【気象情報に注意】

- ・朝の、気象情報（気象庁／警報・注意報、気象レーダー・ナウキャスト）を確認しましょう。
- ・キーワードは、「大気の状態が不安定」「急な雨」「雷」「突風」
- ・「1時間に50mmの雨」は、かなりの大雨で、川は危険です。